B03

オオサシガメ唾液腺蛋白質 prolixin-S による外因系血液凝固反応の阻害機構

伊澤晴彦・油田正夫・安藤勝彦・鎮西康雄（三重大・医・医動物）

Extrinsic coagulation is inhibited by an anticoagulant (prolixin-S) from the salivary glands of the blood-sucking bug, *Rhodnius prolixus*.

Haruhiko Isawa · Masao Yuda · Katsuhiko Ando · Yasuo Chinzei

オオサシガメ (*Rhodnius prolixus*) の唾液腺蛋白質 Prolixin-S は血液凝固第 IX/IXa 因子に特異的に結合し、内因系凝固反応を強く阻害することは既に報告した。一方、刺咬に伴う血液凝固は、口針による創傷部位の微量の組織因子が第 VIIa 因子と複合体を形成し、これが第 IX 因子を活性化するという外因系凝固反応により開始する可能性が高い。そこで、Prolixin-S のによる外因系凝固反応の阻害について、精製した凝固因子を用いた再構成系により分析した。その結果、Prolixin-S は濃度依存的に第 VIIa 因子による第 IX 因子の活性化を強く阻害し、加えて第 Xa 因子による第 IX 因子の限定分解 (IX から IX α への変換) も抑制することが判明した。以上のことより Prolixin-S は、内因系・外因系凝固反応を問わず、第 IX/IXa 因子に関わるすべての反応を阻害するインヒビターであることが明らかとなった。

B04

グアテマラにおけるシャーガス病媒介性サシガメ2種の吸血源動物

○佐々木均 (酪農大・昆虫)、Regina Rosales (The University of San Carlos)、田原雄一郎 (JICA)

Blood meal sources of the triatomine bugs collected at the rural villages in Guatemala (Hemiptera: Triatomidae)

Hitoshi Sasaki, Regina Rosales and Yuichiro Tabaru

中南米諸国の昆虫媒介性重要疾患の一つ、シャーガス病のベクターである吸血性サシガメ類の吸血源動物の調査を、グアテマラの2県の農村で行った。

吸血性サシガメは2種採集されたが、そのうち *Rhodnius prolixus* は Zacapa 県の5村の民家で 293 個体が、*Triatoma dimidiata* は Santa Rosa 県の5村と Zacapa 県の一軒の民家から合わせて 170 個体がそれぞれ採集された。採集された個体のうち、*Rhodnius prolixus* は 68.9%に当たる 202 個体が、*Triatoma dimidiata* は 92.4%に当たる 157 個体が blood meal を持っていた。

そこで、抗ヒト、ブタ、ネコ、イヌ、ウシ、ラット、マウス、ニワトリのそれぞれ種特異性を持つ市販の法医学用抗血清8種を第一抗体とする ELISA で、それら blood meal の同定を行ったところ、*Rhodnius prolixus* では 46.0%に当たる 93 検体でヒト、ニワトリ、ウシ、ラットなどに、*Triatoma dimidiata* では 49.0%に当たる 77 検体でヒト、ウシ、ネコ、ニワトリなどに由来すると同定されたが、両種ともヒトから吸血していた個体の割合がそれぞれ 28.2%、30.6%と最も高かった。